

この度、二〇五二年に開創一千年を迎える平等院にコロナ禍終息と新たな千年の弥栄を祈念して、日本の伝統色である「日本の藍」による本藍染ガラスアート作品を奉納させていただくことになりました。

奉納させていただく作品のコンセプトは、新進気鋭のロボットデザイナーでアーティストでもある松井龍哉氏によるもので、「コロナ禍の世を鎮め次の世を担う為に平等院の鳳凰が産んだ卵」がモチーフとなっており、今日まで日本人の身体を守ってきた藍染布とともに、ガラスで内包するデザインです。

本藍染布は本藍染雅織工房の藍染師・中西秀典氏に製作していただきます。

この度の奉納は「奉獻」に値する素材に拘りたいと考え、日本の原種繭である希少な「小石丸」を用いることといたしました。これは神宮式年遷宮や正倉院修復にも用いられ、皇居内でも歴代の皇后陛下がご養蚕されています。

年間に僅かしか出来ないその生糸による白生地を、平安の昔より京の水藍と呼ばれた希少な白花小上粉種の蓼藍すくもあいより造られた「薬藍」を用い、「天然灰汁醗酵建藍染」と呼ばれる古法の藍染めにより染め重ねます。「薬藍」は国選定の阿波藍製造技術無形文化財保持者佐藤昭人氏が製造いたします。

ガラスは本藍染の色が美しく映えるよう透明度を追求し、野田雄一氏(富山ガラス工房館長)監修のもと、高透過ガラス、光学ガラスを使用した組みガラスを使用する予定です。

コロナ禍で先の見えない大変な世の中となっておりますが、その状況下だからこそコロナ禍終息を祈念し、次の千年に想いを繋いでいく奉納プロジェクトの意義をご賢察いただき、多数のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平等院奉納プロジェクト ご寄付のお願い

令和三年 一月吉日

平等院奉納プロジェクト実行委員会代表 山田あかね

申込み方法

個人一口 十万円 法人一口 百万円

「納入」 左記の銀行口座までお振込ください。

京都銀行宇治支店 普通 5085554

平等院奉納プロジェクト実行委員会

銀行振込時の控えをもって領収書とさせていただきます。

「展示期間」

令和三年七月より約三ヶ月間

奉納プロジェクトの主旨にご賛同いただき、ご寄付いただいた方のお名前は、パンフレットとHP、奉納作品展示会場に掲示させていただきます。

「問い合わせ」

本件に係わるお問い合わせは、左記までお願いいたします。

平等院奉納プロジェクト実行委員会 代表 山田あかね

宇治市南陵町二丁目一―一九四

yakane116@gmail.com 090-8592-4980

HPからもアクセスしていただけます。 byodoin-hono.jp

平等院奉納プロジェクト実行委員会

代表 山田あかね 株式会社エーワークス代表

副代表 山田耕司 株式会社アットクリエイション代表

副代表 長田直之 建築家・奈良女子大学准教授

監事 松井龍哉 フラワー・ロボティクス株式会社代表

山崎(山田)あかね

株式会社エーワークス代表/デザインプロデューサー

1964年 東京都生まれ

1987年 日本女子大学住居学科卒業

東陶機器株式会社入社。建築・デザイン専門ギャラリー・間に勤務。建築家・インテリアデザイナー・プロダクト

デザイナー等の展覧会、講演会のキュレーターを勤める。

1991年 独立して株式会社エーワークス設立。建築家と協働し、

学校、公民館、文学館等公共施設のサイン・ID計画、家具計画を主たる業務とする。

1996年 30代建築家100人会議 展覧会実行委員会事務局

1999年 ベネチアビエンナーレ出展チーム「Project co.jp」の

プロジェクトマネージメント

2002年 東京電力「スタイルキッチン」プロジェクト

総合プロデューサー



œuf ho-oh

二〇二〇年この世界は沈黙した。百年後も千年後もこの沈黙の影響は意味を成す。

千年前から平等院上空を飛んでいた鳳凰は今日のこの静けさをどう達観しているのだろうか。

私はこんな想像をした。

この疫は人の業を問い新序を拓く素因として吹き荒んでいる。

鳳凰ついに翔ぶ。新たなる千年への”和“を卵に込め平等院の池に落とし…。

この現代美術作品「œuf ho-oh (鳳凰の卵)」は卵が池に落ちた瞬間をガラスに閉じ込め私たちが懸命に生きている今を未来に繋ぐ。

今日の闇から次に向かう意思を示した歴史の証としての碑となる。

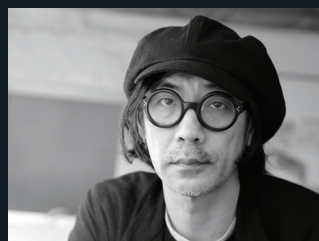
伝統を重んじ丹念に作る藍染の絹布

現代技術を歴史に刻む最新のガラス工法

伝統と現代の技を合わせた輝く結晶は”和“の形態となり千年後へも鳳凰の意思を届ける。

令和三年一月二十二日

松井龍哉



松井龍哉

アーティスト・
デザイナー

1969年 東京都生まれ

1991年 日本大学藝術学部デザイン学科卒業後、丹下健三・都市・建築設計研究所を経て渡仏。

科学技術振興事業団 ERATO 北野共生システムプロジェクト研究員に。

2001年 独立しフラワー・ロボティクス社を設立。自社ロボットの研究開発から販売までを手掛けている。

2014年 松井デザインスタジオを設立し、幅広いデザインプロジェクトを展開。

2020年 現代美術作品を制作し活動の場を広げている。

〔受賞〕 Good Design 賞(日本)、ACCブロンズ賞、Teiデザイン賞(ドイツ)、RedDotdesign 賞(ドイツ)、第六回日芸賞

〔個展〕 2006年水戸芸術館にて松井龍哉展、2013年 POLA ミュージアムアネックスにて「花鳥間」展、2014年伊勢せきやにて「Re:Play」展、2017年よりヨーロッパ各地の美術館・博物館にて開催される巡回展「Hello, Robot」展に作品を出展中。

日本大学藝術学部客員教授、成安造形大学客員教授、早稲田大学理工学部非常勤講師、東京理科大学工学部非常勤講師、グッドデザイン賞審査委員(2007-14)



中西秀典

本藍染雅織工房主宰
藍染師
雅号・桂秀

1966年 京都府生まれ

1984年 京都府立東稜高等学校卒業、工業用ロボット製造会社入社

1987年 国選定・藍製造無形文化財佐藤昭人を師事

1997年 藍染工房設立

2005年 IZM 国際手工芸展グランプリ受賞

2010年 現代工芸展入選

2012年 日本美術展覧会(日展)入選

2017年 京都工芸作家協会展入選

2018年 手描き友禅作品展入選

2019年 徳島五社神社(藍の神様)御簾奉納
下鴨神社/賀茂御祖神社
几帳奉納 新天皇即位安寧祈念
音羽山 清水寺
几帳奉納 新天皇即位安寧祈念

その他、染織品最高権威のリオン博物館(フランス)をはじめ、スミソニアン博物館(アメリカ)など多くの著名な博物館や美術館に作品が所蔵される。